

発育性、産肉性、経済性に優れた ニューひょうご味どりの作出

【背景・目的・成果】

従来の「ひょうご味どり」は、「歯ごたえ」と「こく」のある美味しい特産鶏ですが、飼育日数が100日以上であるため、生産効率がやや劣っていました。

そこで「ひょうご味どり」の増体性を改良し、生産費の削減により生産羽数を拡大するため、ブロイラー種鶏(羽毛色優性白色プリマスロック)を利用した「ニューひょうご味どり」を作出しました。従来のものに比べて、発育性に優れ、飼料効率が良くなりました。美味しさに差はありませんが、肉の歩留まりが多いのが特徴です。



薩摩鶏 雄



名古屋種 雌



二元交配鶏「兵庫」
父系



白色プリマスロック
(羽毛色優性) 母系



ニューひょうご味どり

性能比較

	出荷日齢	出荷体重	飼料要求率	正肉歩留り
ニューひょうご味どり	80日	3.4kg	2.6	43%
ひょうご味どり	110日	3.6kg	3.4	40%

【成果の活用】

「ニューひょうご味どり」は「ひょうご味どり」に比べ飼育日数が短く、年間の出荷回数を1回程度多くすることが可能です。また、成長に伴う闘争や損耗が少なく、出荷率及び上物率が高くなります。今後は「ひょうご味どり普及推進協議会」等との連携により普及拡大していきます。